

令和4年度 第3回エリアミーティング

開催報告 中央大学 中村経済学ゼミ

令和4（2022）年12月18日（日）午後1時より、東寺方小学校ランチミーティングルームにて、第3回エリアミーティングが開催されました。「もっと伝え、あなたの夢プラン！」と題して、中央大学国際経営学部の飯田朝子教授をお招きし、「たくさんの人を巻き込む「広報のコツ」」について学びました。

もっと伝え、あなたの夢プラン！

令和4年 第3回

東寺方エリアミーティング

テーマ：たくさんの人を巻き込む「広報のコツ」

2022年12月18日（日）
13:00～16:00
東寺方小学校2階ランチルーム

● 地域の課題と解決策を発見し、未来のまちビジョンの実現を目指すプロジェクトも今回3回目。素敵なプランを思い浮かべたら、どんどんみんなに伝えたいですね。でも、どうやって伝えるのがいいかわからない...
● そこで、今回は多摩市市制50周年記念キャッチフレーズ「くらし・たのし・たまし」を生んだ飯田朝子さん（多摩市在住/中央大学教授）が、広告や広報についてわかりやすく解説します。
● 事業のチラシの作り方から、SNSや動画を活用したデジタル広報の仕方まで、仲間とワイワイ実践しながら学びます。

◆ 問合せ ◆ 令和4年12月15日（木）までにQRコードからお申し込みください。
※ 新型コロナウイルス感染対策を講じて開催いたします。
当日連絡先 070-1592-0571 企画政策部 企画課 企画調整担当 西村・長
TEL 042-338-6813 MAIL tm032000@city.tama.tokyo.jp

申込フォーム
<https://logform.jp/form/4M4o/185053>

開催チラシ

飯田先生は多摩市でおなじみ「うれし・たのし・たまし」の考案者であり、本トピックの専門家でおられます。15名近い参加者と飯田先生とが対談を行うよ

うに、広報が持つ意味について、レクチャーがなされました。特に印象深かったのは、「いいもの」→「広めたい」→「広報」という一連のプロセスには、「ほしい人のみに伝えることができる。」という特徴を持つ点でした。

参加したゼミ学生からは、「キャンパスでは中々できない積極的な「質問」をレクチャー中になされる場面には思わず感動しました。」との声もありました。レクチャーの合間にはワーク時間があり、地域活動団体の方々から、東寺方小学区の魅力や取組みなど、中々聞くことのできない貴重なお話を聞かせていただき、地域を振り返りながら、さらに地域の輪が広がるきっかけになりました。

参加者のアイデアを発表し合う場もあり、飯田先生からのフィードバックには「韻」などが含まれ、「「き」は「気」、「わ」は「輪」ですよ」というセンスに会場全体がなるほどと頷きました。



飯田教授によるレクチャー

そして、東寺方小学区エリアミーティングをロゴで表現してみましようというワークがあり、あまりの完成度の高さに、その場でロゴ選定を行うことになりました。



ロゴのアイデア

後半は、これまでのプロジェクトごとのチームに席替えして、チラシの作り方について皆で学び、主催者の写真を載せることで、顔が見える状態によってより注目される効果が紹介されました。さらに、垣根を低く、様々な人たちに語りかける感じでのアドバイスも受けました。

全3時間におよぶ、これまでで最も長時間のエリアミーティングとなりましたが、飯田先生の「あっという間ですね。」のお声に、会場全体で共感しました。

最後に飯田先生から「いままで集合写真は撮っていないんですか？」とのご質問がきっかけで、エリアミーティングではじめての集合写真を撮りました。



はじめての集合写真

今回しっかり学んだ広報のコツを参考に、今後引き続き予定されているミニプロジェクトのチラシ作りや開催案内通知に順次活用していく楽しみができました。

効果的な広報を積極的に導入していくことで、エリアミーティングがきっかけで動き出したそれぞれのミニプロジェクトに気軽に参加しやすい雰囲気を提供し、ミニプロジェクトの一員、エリアミーティングへの参加、地域活動への参画にも可能性を広げられる仕組みを今後とも整えてまいります。

このたび自治会、世話人会はじめ地域活動団体の皆さまにも多くご参加いただき、既述のとおり日頃聞けない貴重なお話を共有させていただくことができました。心より感謝申し上げます。